海の日表彰式典　千葉港湾事務所　2017年度優良工事等事務所長表彰

海事関係で顕著な功績

みらい建設工業が優良工事

千葉港湾事務所、関東運輸局千葉運輸支局、海上保安庁第三管区海上保安本部を施工した、みらい建設工業㈱千葉営業支店と現場代理人の柴利幸氏をたたえた。

千葉港湾事務所、関東運輸局千葉運輸支局、海上保安庁第三管区海上保安本部千葉海上保安部は7月23日、千葉港湾合同庁舎で2018年海の日表彰式典を執り行った。

千葉港湾事務所の17年度優良工事等事務所長表彰においては優良工事・優秀工事技術者として、『千葉港葛南中央地区岸壁（マイナス10m改良工事（その3）』を施工した、みらい建設工業㈱千葉営業支店と現場代理人の柴利幸氏をたたえた。

石井啓一国土交通大臣は式辞を寄せ、「本日、表彰を受けられる皆さまは、海事関係のさまざまな分野において顕著な功績を上げられた」と敬意を表したうえで、「各施策の実現のためには、皆さまのご支援が不可欠。今後とも、それぞれの分野において、なお一層のご尽力をお願いする」と求めた。

県県土整備部の舘野昭彦次長は「千葉港のさらなる発展を目指し、17年1月に策定した千葉港長期構想を踏まえ、具体的な整備計画である千葉港港湾計画の改訂に取り組んでいる。今後とも県内港湾の利便性や競争力の向上に取り組んでまいる。引き続き、港湾の健全な機能維持や海上における安全の確保にご尽力をお願いする」と、森田健作知事の祝辞を代読した。

石井啓一・国土交通大臣式辞

本日、表彰を受けられる皆さまは、海事関係のさまざまな分野において顕著な功績を上げられた方々であります。この功績に対しまして深く敬意を表するとともに、お喜び申し上げます。

また、表彰者の皆さまを支えてこられました、ご家族の皆さまに対しましても、この場をお借りして感謝とお祝いを申し上げます。

わが国は、四面を海に囲まれた海洋国家です。人々の往来、物資の輸送、漁業、海外との文化交流、マリンレジャーなど、古くから海と深い関わりを持ち、その恩恵を受けながら発展してきました。海運、造船、港湾などの海事産業は物資の安定輸送を支え、わが国・国民の暮らしや制度への基盤として重要な役割を果たしております。また、その基盤でもある海の安全確保や海洋環境の保護についても、関係者の努力により守られております。

現在、政府ではGDP600兆円を達成するため、成長基盤の構築や生産性革命の推進等に取り組んでおり、その中で、自動運行船の実用化への取り組みなど、海事生産性革命の推進、船舶管理会社の活用促進をはじめとした『内航未来創造プラン』の各種取り組みの推進、海域管理および海上保安体制の強化などを政府一体となって進めています。

各施策の実現のためには、皆さまのご支援が不可欠です。今後とも、それぞれの分野において、なお一層のご尽力をお願い申し上げます。

優良工事・優秀工事技術者

●工事名＝千葉港葛南中央地区岸壁（マイナス10m）改良工事（その3）

●施工者＝みらい建設工業株式会社千葉営業支店

●現場代理人＝柴　利幸氏

【表彰理由】

工期に制約がある中、改良に先立ち岸壁前面の支障物撤去を行う必要が生じ、厳格な工程管理が求められた。鉄筋組立の一体化や関係者との綿密な調整により、作業ヤード拡幅と作業効率化を図り、円滑な施工に努めた。

水中での溶接作業においては専用治具を製作し、潜水作業の効率化・精度向上・安全確保に取り組んだ。水中コンクリート打設では、打設状況を可視化するため独自のセンサーを使用し、施工確実性と精度向上を図った。さらに、海域における濁り発生防止対策を行うなど、関係者に配慮した。

工事全般について港湾管理者などと細部にわたる調整を行い、無事故で工期内に完成させた。

また、現場代理人は漁業関係者との調整を速やかに行い、工程管理を着実に実施。工程短縮・施工精度向上のうえ、無事故で工事を終えた。

みらい建設工業 株式会社

千葉営業支店長　岡本新次

〒260-0032
千葉市中央区登戸１-23-16

TEL：043-302-5755
FAX：043-302-5760

受賞おめでとうございます